

新しい年に向かって

令和2年12月25日
穂積啓三

来年は質的向上を目指そう

コロナ騒動に明け暮れ、皆さまのお蔭で何とか営業出来ていることに心より感謝申し上げます。

このコロナの時期だからこそ、もう一段深く物事を考える良い機会だと思います。

桜は寒い冬を体験すればするほど美しく咲くそうです。

コロナで寒い時期ですが、きっと素晴らしい春が待っていると思います。

しかし、ただ待っているだけでは春は来ません。

この時期に

- ・ 仕事の根本
- ・ 責任者とは
- ・ お客様を獲得するとは
- ・ 利益とは
- ・ 仕事の意味

を考えるのです。

百貨店が衰退しています。それは、一番活況時に楽な商売をして場所貸し業になってしまったからです。本来1番順調な時に、足腰の強い、しんどいことに挑戦すべきだったのです。ところが安易に流れた為、現在の衰退を呼び込んだのです。

私たちもこの時期に楽な思いをせず、しんどいことに挑戦しなければなりません。

最も大切なのは仕事の核です。

何の為に仕事をしているのか
です。

熱い思いで仕事をしていますか

世の中に貢献していますか

社会に貢献出来ない会社は、世の中から退場する以外にありません。

〇〇で貢献するのだ・・・

誰かのお役に立っているときこそ、熱い思いが沸きあがってくるはずですよ。

その思いが仕事の核です。

その仕事の核

仕事の意味を是非獲得して下さい。

この仕事の核が責任者、店全体でしっかりと捉えられていれば、店の中での問題は少なくなります。

ここが浸透していなければ、会社への批判、仕事のやる気、各人間のトラブル、エネルギーが外部に向かわずに、内部の問題を解決する為に大方のエネルギーを使用してしまいます。

最近あちらこちらの店で問題が噴出しています。

しかし、根っこは同じです。

人間力を高めて下さい。

自分の生き方を考えて下さい。

仕事の意味

理想像

を考えて下さい。

考えるだけでなく全員で鮮明になるまで全員の意識を統一して下さい。

私たちが最も大切なのはお客様です。現在の私たちのお客様の接し方で本当に大丈夫ですか

楽をしていませんか

理想のレンタル、サービスは一体どういう接し方ですか

今こそしんどいけれども5年後10年後年後に向けたお客様への接し方を構築する必要があります。

未来に向けたお客様への接し方に向けて全員で徹底的に話し合ってください。

店の中で、その理想像を全員でイメージして下さい。

前回の店長会議で
熱い思い
気づき
顧客の創造
の話をしました。

熱い思いは仕事の核
気づきは

上司の仕事は部下を動かすことではなく、部下の強みを生かすこと。
上司の仕事は部下の仕事に首を突っ込むことではない。アドバイスすることでもない。
何が問題かを部下自ら気付けるよう導くこと。
会社が進む方向を明確に打ち出し、それさえ組織で共有できれば、上司に指示はいらない
顧客の創造は常に変革することです。

来年はきっと良くなります。

今期はなんと純増がおそらく 1000 万近くに達します。エコライフも大きく売上を伸ばすでしょう。川和町、船橋も改善します。八王子、府中、杉並、ライズ、アート、新宿も新しい体制を整えています。

売上利益も大切ですが、来年はもっと仕事の中身、人間の中身を充実した、質的向上の年にしたいと思っています。